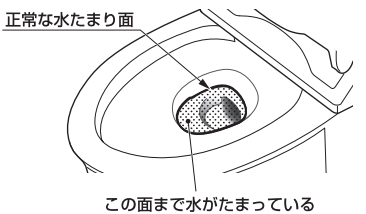
取付方法

7 取り付け後の確認

・止水栓を開けて大洗浄をしたあと、水たまり面の状態を確認する。
・2～3度洗浄させて、便器・タンク内外への水漏れや洗浄状態などの異常がないことを確認する。
※洗浄した際、約1分程度水が流れます。止水不良ではありません。

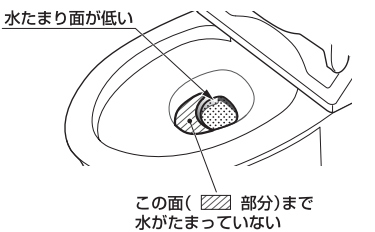
正常な状態

設定変更は不要です。
（設定を行うと、洗浄不良になる場合があります）



水たまり面が低い状態

設定変更を行ってください。
（水たまり面を正常な状態にすることができます）



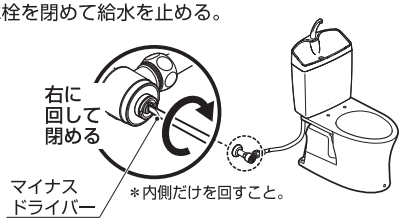
設定変更の仕方は「⑩ 水たまり面が低下する場合の対応方法」をご確認ください。

〈水たまり面の判断に迷ったときは…〉
ペットボトルやバケツなどで徐々に水を足し、水たまり面が上昇しない場合は正常です。

※水たまり面が低いと汚物付着の原因になります。
排水管に曲がりが多かったり、通気が不十分だったりすると、水たまり面が低下する場合があります。

10 水たまり面が低下する場合の対応方法

❶止水栓を閉めて給水を止める。

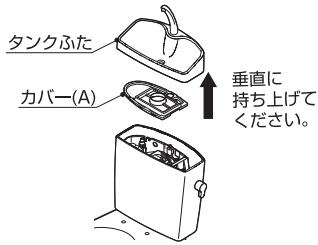


施工手順を動画で
確認できます。
※通信料がかかります。

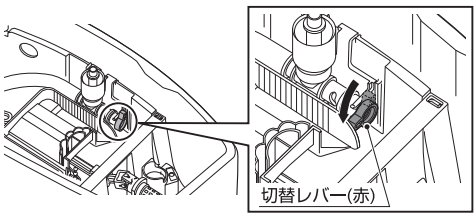
❷タンクふたとカバー(A)を外す。

⚠注意

必ず実行	**タンクふたは落とさないように注意する** 破損してけがをするおそれがあります。

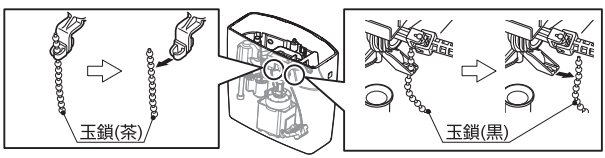


❸切替レバー(赤)を手前に90°倒す。



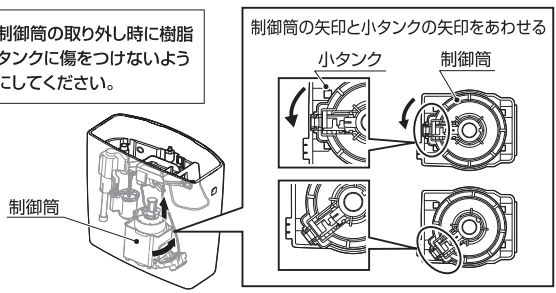
❹レバーハンドルを取り外し、
カバー(B)を取り外す。

❺玉鎖を外す。



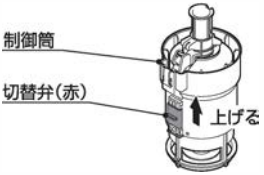
❻制御筒を反時計回りに回して外す。

注意 制御筒の取り外し時に樹脂タンクに傷をつけないようにしてください。

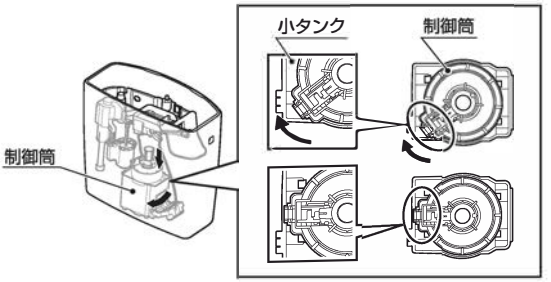


10 水たまり面が低下する場合の対応方法（つづき）

❼制御筒横の切替弁（赤）を上げる。

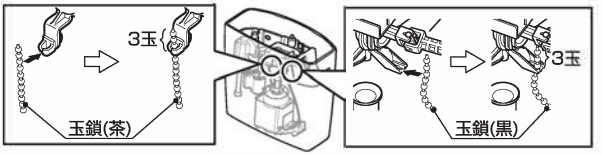


❽制御筒を時計回りに回して取り付ける。



❾玉鎖を**3玉**余して取り付ける。

正しく取り付けないと止水不良になります。



❿カバー(B)とレバーハンドルを取り付ける。

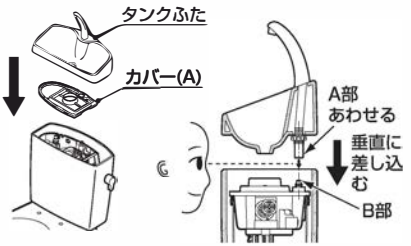
⓫カバー(A)とタンクふたを元に戻す。

⚠注意

必ず実行

手洗い付きの場合、A部をB部に必ず差し込む

確実に差し込まれていないと水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。



⓬取り付け完了後の確認をする。

・止水栓を開け、2〜3度洗浄させて、便器・タンク内外への水漏れなどの異常がないことを確認する。

・正常に洗浄するか確認する。

・洗浄終了時、水たまり面が低下していないことを確認する。